

令和3年度 事業計画

1. 基本方針

わが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にありますが、感染拡大の防止策を講じるなかで、総合経済対策の着実な執行等により、コロナ前の水準に回帰することが見込まれ、国においては、働き方改革を推進するとともに、就労や社会参加など頑張る人を支援し、高齢者を含めた皆が活躍できる地域共生社会の実現に取り組み、ポストコロナの新しい社会をつくっていくとされております。

当センターにおいても、コロナの影響により厳しい状況が予想されますが、社会の担い手として高齢者の就業機会の確保や提供を図る中、その役割はますます重要になっており、令和5年度を目標年度とした「シルバー事業推進計画」を着実に推進してまいります。

この計画では「地域に根差した まちのシルバー人材センター」を目指すこととしており、これまで以上に創意・工夫した積極的な事業展開を行うこととしております。

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の状況を注視しながら、会員数の増加や派遣事業の拡大、少子高齢化の進展による生活支援サービス等の需要拡大、剪定等の専門職種などでの後継者不足、同一労働同一賃金への対応など、環境の変化に迅速、的確に対応していくことが喫緊の課題となっております。

こうしたことから、引き続き国の補助事業である高齢者活用・現役世代雇用サポート事業を活用し、「会員拡大」、「就業機会の拡大」を重要課題とし、未就業者対策や会員等へのきめ細かな施策の実施、女性会員や高齢会員等向けの各種取り組みを充実するなど、アフターコロナを見据え、創意と工夫を凝らした会員目線に立った事業展開を図ってまいります。

主な取り組みとしては、シルバー事業の広報、啓発を図るため、市役所本庁舎総合インフォメーションのタッチパネルに新たにセンターの広告を掲載するほか、サービスの質の向上を図るため、対象職種を拡大した顧客満足度調査を実施するとともに、受注先を過去5年間まで遡って先行予約するリピーター対策も行います。

また、今年10月には鹿児島市シルバー人材センター設立40周年を迎えることから、設立40周年記念式典の開催や記念誌の発行を行うほか、昨年度はコロナの影響により様々な事業実施を見送ったことから、継続会員に対する会費の免除及び減額措置を行います。

このほか、指定管理業務については、さくらじま白浜温泉センターは令和7年度までの5年間、指定管理者として指定されましたが、令和3年度で指定期間が終了する東千石・山之口・中町自転車等駐車場及びすこやかランド石坂の里については、新たな指定に向けて取り組んでまいります。

当センターの事業運営は、事業収益はもとより、国及び市からの補助金が主要財源となっていることから、各種施策の推進にあたっては、安定した経営基盤を確立する必要があり、そのためには、常に自らがコスト意識を維持し英知を結集しながら、効率的で効果的な事務事業の運営に努めます。

今後とも、関係機関のご支援、ご協力をいただきながら、さらなるセンターの発展と地域に根差した魅力あるセンターづくりのために、会員、役職員一丸となって取り組んでまいります。

2. 事業の実施項目

- (1) 就業開拓及び就業率の向上
- (2) 会員の拡大及び資質の向上
- (3) 適正就業、安全就業の推進
- (4) 事業推進体制の強化
- (5) 独自事業の推進
- (6) 普及啓発活動の推進
- (7) 会員交流の促進及び会員福祉の向上
- (8) ボランティア活動の推進

3. 事業の実施計画及び具体的な施策

(1) 就業開拓及び就業率の向上

女性会員や事務系の就業希望会員が増加していることから、就業開拓のための営業活動を特定の職種等に重点化するとともに、未就業会員へのきめ細かな取り組みを進めます。

- ① 「まちのシルバーたすか〜る隊」の強化
 - ・ 民生委員等への生活支援サービスなどの営業活動
 - ・ コーディネーターの後継者育成
 - ・ 会員研修会の充実
- ② 「ワンコインまごころサービス事業」の実施
 - ・ 意見交換会の開催
 - ・ サポート員の営業活動及び活性化
 - ・ アンケート調査の実施

- ③ 就業推進グループによる計画的就業開拓（文書営業）の実施及び重点化
 - ・ホワイトカラー層向けの就業開拓
 - ・人手不足分野、高齢会員及び女性会員向け職種の就業開拓
- ④ 低収入者・未就業者対策の強化
 - ・未就業者担当制の実施
 - ・公園清掃及び駐輪指導業務に封入作業を加えた就業体験会の実施
- ⑤ 剪定、草刈業務等の予約制度の実施（リピーター対策の強化）
 - ・受注実績の時期を1年前から5年前までに拡大
- ⑥ 顧客満足度調査の実施
 - ・対象職種の剪定、草刈、草取、生活支援に屋内外清掃を加えた調査の実施（650件）
- ⑦ 鹿児島市からの指定管理業務の着実な実施
 - 「東千石・山之口・中町自転車等駐車場」、「すこやかランド石坂の里」、
 - 「さくらじま白浜温泉センター」
- ⑧ ホームページ等による迅速な就業情報の提供
- ⑨ 就業開拓報奨金制度の活用による会員の就業開拓

（2）会員の拡大及び資質の向上

（会員の拡大）

職群班等での会員の高齢化による後継者不足や、企業等からの人材不足分野での求人及び少子高齢化の進展による生活支援等の多種多様な発注者からの要望等に応えるため、引き続き会員拡大に向けた取組みを積極的に進めます。

- ① 就業推進グループによるハローワーク等での入会促進活動
- ② 市民を対象とした技能講習会等による人材の確保
 - ・7回（県シ連主催の高齢者活躍人材確保育成事業）
- ③ シニア世代活躍支援セミナーの開催 11月、3月
- ④ 入会キャンペーンの実施 8月～9月（記念品プレゼント）
- ⑤ 女性限定入会説明会の開催 7月、1月
- ⑥ 入会説明会（19回）、出前入会・お仕事案内会（中央地区、谷山地区）
- ⑦ 随時入会受付による入会促進
- ⑧ 退会防止策として「プラチナ会員」制度の周知、活用
- ⑨ 生活・就労支援センターでの入会・就業相談実施 市役所東別館1階
- ⑩ 正会員入会報奨金制度の活用による会員の入会促進
- ⑪ シルバー人材センター事業普及啓発促進月間での入会促進 10月
- ⑫ 賛助会員の入会促進
- ⑬ 積極的な広報活動の実施による入会促進

(資質の向上)

会員の資質の向上や技能部門等での後継者育成を図る必要があることから、各種研修会、講習会等を開催してまいります。

- ① 入会説明会等でのセンターの趣旨、基本理念等の説明徹底
- ② 職群班での実践的な研修等の実施
- ③ 剪定、草刈等に新たに墓守を加えた職種別後継者育成
- ④ 地域班会、職群班会等での各種情報提供
- ⑤ 教育訓練時の派遣会員との意見交換の実施

(3) 適正就業、安全就業の推進

(適正就業の推進)

シルバー人材センターの就業は、「臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務にかかる就業」であることを踏まえ、基本理念である「自主・自立、共働・共助」のもと適正就業の推進を図ってまいります。

- ① 「適正就業ガイドライン」に即した事業運営の実施及び関係法令の遵守
- ② 就業適正化委員会による「適正就業に関する基準運用方針」の見直し
- ③ 駐輪・駐車職群班、公園清掃職群班、墓地清掃職群班等での就業説明会の開催
- ④ ローテーション就業やグループ就業の推進
- ⑤ 各職群班での独自基準に基づく適正就業の推進

(安全就業の推進)

会員にとって、「安心・安全に就業する」ことが最も重要であり、受託事業、派遣事業ともに事故ゼロを目指して取り組みます。

- ① 安全就業推進委員会での事故原因の分析及び防止策の検討
- ② 安全就業推進委員による安全パトロールの強化
- ③ 月初め「安全就業宣言の日」の安全ニュースの発行 毎月1日
- ④ 両刃回転式刈払機（カルマー機）の使用基準の徹底及び使用促進
- ⑤ 各職群研修会等での「ヒヤリ・ハット事例集」の活用
- ⑥ 安全講習会（公園、墓地、草刈、草取、剪定の各職群及び支部）の開催
- ⑦ 派遣会員向け業種別安全講習会の開催
- ⑧ 衛生委員会の運営
- ⑨ グループ就業時の就業前、就業後のミーティングの徹底
- ⑩ 声かけ運動の励行、ヘルメットや安全带等の着用徹底
- ⑪ 特定健康診査等の受診及び受診報告書（簡易的なもの）の提出の徹底
- ⑫ 「事故防止マニュアル」や「会員ハンドブック」の活用
- ⑬ 就業時等での備忘録（緊急連絡先等記載）の携行遵守

(4) 事業推進体制の強化

社会の変化やニーズに柔軟、迅速に対応していくことが重要であり、会員の自主的運営の促進を図る中、会員、役員、事務局職員が連携し、一丸となって事業推進体制の強化を図ってまいります。

- ① 会員の就業相談体制（マッチング体制）の強化
 - ・会員活用の強化及び未就業者に係る担当者制実施
- ② 会員現況調査の実施
- ③ 「ひまわりの会」での交流会を通じての地域リーダー養成
- ④ 職群班統括班長会議の開催
- ⑤ 会員活用による事務局支援（電話対応、電算入力など）
- ⑥ 業務量の増減等に伴う事務局体制の整備
 - ・総務課 2人減、業務推進課 1人増
 - ・有期雇用職員を無期雇用職員へ 2人
- ⑦ 職員を対象とした業務研修への参加
- ⑧ 支部の活性化
 - ・FAX兼用の複合機導入（吉田・喜入・郡山支部）
- ⑨ 市及び関係機関等への支援、協力及び財政的支援等の要請
- ⑩ 設立40周年記念事業の実施
 - ・記念式典の開催 10月14日（木）川商ホール
 - ・記念誌の発行 1月

(5) 独自事業の推進

独自事業については、地域ニーズに応え会員の楽しみや就業につながり、当センターの魅力アップとなる事業を、引き続き経済性等も考慮する中、実施してまいります。

- ① 桜島腐葉土センターでの剪定枝チップ処理による腐葉土の製造
- ② アンテナショップ「おじゃったもんせ」の運営
- ③ 年末物品販売の実施

(6) 普及啓発活動の推進

- ① 会員への情報発信の充実 ・「派遣ニュース」の発行 年2回
- ② 会報「かごしまシルバーだより」の発行 4月、9月
- ③ 輝ら輝らシニアビューティコレクションの開催
- ④ 地元紙の活用によるセンター活動の広報（折込み 年3回）
- ⑤ 市役所総合インフォメーションでの広告掲載

- ⑥ 新たな情報発信等についての検討
 - ・多様なチラシ、パンフレット等の作成
 - ・多様な情報誌の作成検討 会員向け、発注者向け、一般市民向け
 - ・発信手段、方法等の検討 ネット、SNS、会員への情報発信サイト
- ⑦ 啓発用DVD及び入会説明会用DVDの活用
- ⑧ 市広報紙「市民のひろば」の活用（シニア世代活躍支援セミナー、入会説明会等）
- ⑨ チラシ・リーフレットの公共施設等への配置
- ⑩ 公用車の車体広告及び本部、支部での横断幕、のぼり旗の掲揚
- ⑪ シルバー人材センター事業普及啓発促進月間中の啓発活動
 - ・横断幕・懸垂幕の掲揚
 - ・市役所、デパート等の展示場でのセンター事業の案内、会員の作品展示
 - ・各地域班、職群班における清掃等のボランティア など
- ⑫ ホームページによる行事、就業情報等のタイムリーな情報発信
- ⑬ ボランティア活動での「のぼり旗」の掲揚
- ⑭ 各地域で開催されるイベント等でのシルバー事業の広報、宣伝

（7）会員交流の促進及び会員福祉の向上

- ① 会員困りごと相談・就業案内窓口の設置 （月1回）
- ② 「ひまわりの会」地域交流会の開催
- ③ 就業中等の事故に対応するため団体傷害保険、賠償責任保険への加入
- ④ 同好会活動の活性化を図るため、同好会活動等への支援
- ⑤ 会員の相互交流を図るための「おはら祭」への参加
- ⑥ 互助会の行事等での会員研修の実施
- ⑦ 会員作品の募集・展示
- ⑧ 「ほほえみサロン」での各種講座の開催 年4回
- ⑨ 家庭常備薬の斡旋販売

（8）ボランティア活動の推進

- ① 地域班、職群班による公共施設等の清掃活動、剪定作業等の実施
- ② 「ひまわり劇団」によるボランティア訪問活動

4. 安全就業及び適正就業標語

安全就業及び適正就業のため、次の標語を掲げ、会員、役員、事務局職員が一丸となって、事業運営の推進に努めてまいります。

- 気を抜かず 慣れた作業も 危険予知
- ゆずりあう 心・笑顔の適正就業

5. 目 標

令和3年度の目標については、令和2年度の会員加入状況や業務実績及び今後の取組み等を勘案し、目標値を設定しました。

- 会 員 4,400人
- 事業収入 17.3億円
 - ・受託事業収入 10.3億円
 - ・派遣事業収入 7億円
- 就 業 率 87%